

(1)評価基準に沿った評価	3人	3人	0人	0人	0人	4.5
(2)記述評価						
・BAにADHDが合併したときに、患者に対するアドヒランス向上の方法を提示してもらいたい。 ・三重と長野の背景因子の違いを示してもらいたい。 ・アドヒアランスの改善とコントロール状態の評価についてさらに分析を要する。本プログラムの有用性についての検証が期待される。 ・スクリーニングとしては面白い。家庭が協力的でない事例に対し、児にどのような支援をすれば良いのかなど、他の取り組みとの統合が必要。 ・アドヒアランス向上のための重要な研究である。知識、意欲、発達障害的のうち、ADHDを含む発達障害そのものの有無の判断と対応については、個々の小児については、「～的」なのか、診断なのかなど、慎重に対応して欲しい。 ・順調に研究が進んでいるものと思われる。 ・適切に計画された研究が進展している。対象児の成長に伴う親子関係の変化に対応できるプログラム開発が望まれる。						